

令和3年4月1日

# 敬愛短大附属幼稚園だより 4月号

学年で一番人数の少なかった年長さんが卒園し、敬愛幼稚園にはまた新しいお友だちが入園してきます。卒園児の保護者の方の中にはこれまでも何人ものお子さんを敬愛幼稚園に入園された方がたくさんいらっしゃいます。お話をお聞きすると、「この幼稚園に子どもを入園させて本当に良かったから次も」と話されます。

一方、令和2年度で最後のお子さんが卒園された保護者の方は、「子どもの卒園で私も卒園してしまうと思うと涙がこぼれてしまいます」とお話されていました。

また、外国籍の保護者の方も同様で、「慣れない日本で敬愛幼稚園に子どもを入園させてほんとうに良かった、母国ではこんなに子どもを大事にした卒園式はなかなかありません。私の国の保護者の方にも敬愛幼稚園をぜひ勧めます」と感激されて話されていました。そして、あるお父さんは、卒園式後にも子どもの母園を去りがたく、熱く敬愛幼稚園での子どもの成長を語られていました。

## 1 保護者の方が感ずる敬愛幼稚園の魅力とは

昨年度末に全学年の保護者を対象とした幼稚園の満足度調査を実施したところ、平均で98%の方が満足と回答されていました。調査項目のいくつもの項目を99%近くの方が満足と回答されていて、特別に数値の低い項目はありませんでした。質問は18項目あり、その中から特に満足度の高い項目を取り上げてみると以下の18項目中13の項目がどの学年でも99%~100%と非常に高い値を示しています。

- ①敬愛幼稚園の教育は子どもに合っている
- ②子どもたちの意欲や主体性を育む教育をしている
- ③教育の指導方針や内容が工夫されている
- ④教員は一人一人の子どもを良く理解し、誠実に指導している
- ⑤教員は子どもの個性を大切にしている
- ⑥子どもは幼稚園での生活を通じて確実に成長している
- ⑦教職員は明るく熱心である
- ⑧園からの緊急連絡がスムーズに伝わるように工夫されている
- ⑨園は保護者からの相談などに対して誠実に対応している
- ⑩子どもが生活しやすい幼稚園（環境）である
- ⑪園だよりや学年だよりなどで教育や活動を分かりやすく伝えている
- ⑫教育方針に沿った活動が展開されている
- ⑬子どもを敬愛幼稚園に入園させたことに満足している

以上のような回答を得て、敬愛幼稚園の歩みを止めることなく、更に良い幼稚園での教育が出来るように短大の附属幼稚園として、研修・研究を進めて参ります。また、ごくわずかでしたが、災害や不審者などの防災への取り組みについては94%の満足度でした。不十分な取り組みではなく、何度も訓練と反省を行っており、周知のための活動が充分ではなかったと分析をしています。

## 2 幼稚園の科学的環境づくりについて

より良い教育活動をめざして先生方がアイデアを出し合いながら日々研鑽に努めています。以下のような手作りの科学的な遊びの場が園内に新しく誕生します。

- ①園庭の上をすべるように飛ぶレッサーパンダ等。（幼稚園では珍しい試み）
- ②2つの滑車を組み合わせて使うエレベーター風の仕組み（子どもたちも乗れるか?）
- ③光での当て遊び。
- ④声を伝えるホース電話（1階間・1階から2階間。それぞれ15m以上）

※②~④は近い将来、子どもたちが小学校で学ぶ学習内容と関連

（園長 杉山清志）